

「侵攻」の衝撃

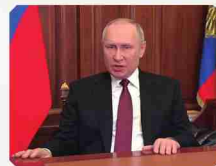
—ウクライナと世界で起きたこと—

Q | 戦況はどう変化した？

2021年からウクライナ国境沿いに集結していたロシア軍（露軍）は2022年2月24日、ウクライナに侵攻しました。学校、病院、原子力発電所（原発）などに攻撃を仕掛け、一時は首都キーウの近くに迫りました。短期間で全土を支配下に置く「電撃戦」を狙ったとされますが、ウクライナはアメリカやヨーロッパ（米欧）などの支援を受けて持ちこたえ、反転攻勢へ。東部や南部での戦闘は続き、市民の日常は破壊されました。

◆ 侵攻の経過

2022年 2月 24日	露軍が侵攻を開始し、北部チェルノブイリ原発を制圧（3月31日に撤収）
27日	プーチン大統領が核兵器を扱う核抑止部隊に特別警戒態勢をとるよう指示
3月 4日	露軍が南部ザポロジエ原発を制圧
3月前半	露軍の一部がキーウ中心部から約15kmまで迫るが、その後は停滞
25日	露軍が「東部の解放に集中する」と発表し、その後キーウ周辺から撤収
4月 2日	キーウ近郊ブチャなどで、露軍が住民を虐殺した疑念が浮上
5月 17日	南東部の港湾都市マリウポリが事実上、陥落
9月半ば	露軍が北東部ハリコフ州の大部分から撤収
21日	ロシアが予備役を動員する大統領令を発動（10月下旬に終了と発表）
27日	東部・南部4州の親ロシア派勢力が、ロシアへの編入の是非を問う「住民投票」を強行し、「賛成票が多数を得た」と主張。これを根拠にロシアが30日、4州の編入を一方的に宣言
10月 8日	南部クリミアとロシアを結ぶ「クリミア大橋」で爆発（ウクライナによるものとの見方があるが、ウクライナ政府は関与を明言せず）
10、11日	ロシアがウクライナ全土をミサイルで攻撃。以降、ウクライナの民生インフラ（発電所など）への攻撃が激化
11月 11日	露軍が南部ヘルソン州のドニエプル川西岸地域からの撤収を完了
15日	ミサイル（ロシアのミサイルを迎撃するためにウクライナ軍が撃ったものと指摘されるが、ウクライナは否定）がポーランド東部に着弾し、2人が死亡



▲ 侵攻開始時にテレビ演説をするロシアのプーチン大統領。プーチン氏は今回の侵攻を「特別軍事作戦」と称している＝ロシア国営メディアのユーチューブから、提供：Russian Pool/ロイター TV / アフロ



▲ 隣国ポーランドへ避難してきたウクライナの人々＝2022年3月



▲ 露軍による攻撃で破壊されたとみられる住宅＝キーウ近郊のブチャで2022年5月



▲ ロシアによる攻撃で炎上する車両近くを走って避難する男性ら＝キーウ中心部で2022年10月、ロイター / アフロ

もっと
知りたい

- 民間人の犠牲多数 難民・避難民が急増 ④106、109⑤
- 高まる核の脅威 軍縮への道のりは ④110、111⑤
- 侵攻前史 冷戦とその後の世界 ④108、112⑤

Q | 世界と日本への影響は？



▲ ウクライナ国旗を掲げて侵攻に反対する市民ら＝東京都で2022年2月

◆ 米欧日が制裁 国際会議は空転も

侵攻に対して非難の声が上がり、世界各地で市民らによるデモが起きました。米欧や日本などがロシアに制裁を科した一方、中国やインドなどロシアに一定の理解を示す国もあり、国際会議が空転する場面もみられました。

もっと
知りたい

- ロシアに経済制裁 その狙いは ④45⑤
- 日本政府の対応 北方領土問題にも暗雲 ④22⑤
- 揺れる国連 露呈した安保理の限界 ④107⑤

◆ インフレが世界経済を直撃

エネルギー資源（石油や天然ガスなど）の「輸出大国」であるロシアが当事国となり、これらの価格が高騰しました。その結果、世界的なインフレーション（インフレ）が加速し、日本も40年ぶりの高水準のインフレに見舞われました。

もっと
知りたい

- 物価高騰に政府・中銀・企業は ④32、33、40、41、48⑤
- 重視される経済安保「分断」の懸念も ④44、49⑤
- 再考迫られた各国のエネルギー政策 ④52⑤

◆ 途上国では食料危機に

農業が盛んで、世界有数の穀物（小麦など）輸出国であるウクライナからの穀物輸出が滞り、アフリカなどの途上国で飢餓が心配される事態となりました。



▲ 侵攻で燃えるウクライナの小麦畑＝ハリコフ州で2022年7月、AP / アフロ

Q | ウクライナって、どんな国？



ウクライナは黒海に面した国で、首都はキーウ。国家元首である大統領はゼレンスキーさん＝写真、侵攻前の2019年撮影＝が務めています。

◆ 基礎データ

面積	60万平方km（日本の1.6倍）
人口	4100万人（クリミア除く、2021年）
民族	ウクライナ人（77%）、ロシア人（17%）ほか（2001年）
言語	ウクライナ語、ロシア語ほか
宗教	キリスト教（ウクライナ正教、東方カトリック教ほか）
国内総生産（GDP）	1555億ドル（日本の約3%、2020年）
主な貿易品	【輸出】穀物 【輸入】鉱物性燃料（石炭など）

※外務省のウェブサイトを基に作成